

上今井遊水地 囲繞堤工事 進捗状況

(株) 植木組

現在、囲繞堤本体工の築堤盛土を引き続き進めております。盛土した法面に関しては、バックホウを使用し、整形を行っています（右下写真参照）。
また、8月より護岸工の基礎ブロックの据付、法面ブロックの施工を開始します。引き続き、安全第一で作業を進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

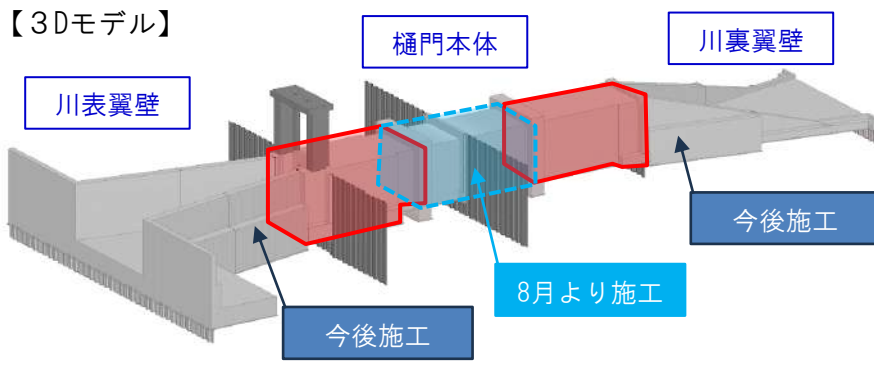
上今井遊水地排水樋門工事 進捗状況

北野建設 (株)

堤防の下に埋まる樋門本体部分の構造物を、引き続き施工しています。
施工は、3ブロックに分けて施工していますが、7月中にはその内の2ブロックについて天井部分まで完了します。
引き続き、安全第一で工事を進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。



右上写真：川側上流から見た外観です。
右下写真：樋門本体内部の状況です。
下図：今回施工の3Dモデルです。
現在は赤枠にて囲った部分を施工しています。



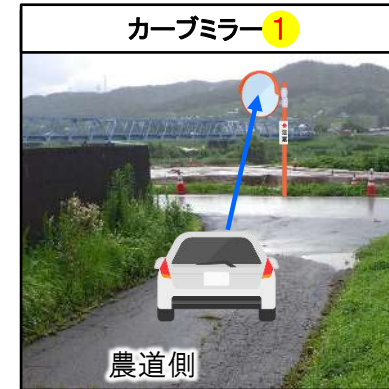
回覧

令和6年8月号 (No.24)
国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所



お知らせ〈続報〉市道大俣線仮廻し道路へのカーブミラー等の設置について

先月の遊水地だよりにてお知らせした、市道大俣線仮廻し道路の一部見通しが悪い区間等の対応について、地元区長様、中野市都市建設課と現地立ち会いを行い協議した結果、下図のとおり、カーブミラーを2カ所設置（各1枚）するとともに、すれ違いを容易にするため、道路脇に敷き砂利を敷いたり、側溝に蓋かけをする区間を設けます。
なお、上記対策は8月上旬頃の改良を予定しています。
地域の皆様におかれましては、引き続き仮廻し道路の通行にご協力をお願いいたします。



【舟橋～木橋時代の苦難】

参考文献:『豊田村誌』、『上今井村ものがたり』

明治3年、堀川による瀬替え工事により上今井の耕地は分断され、住民は舟橋によって川向こうの耕地に通うことになりました。しだいに川幅が広がっていき、明治35年には35隻の舟が必要となると、舟橋維持費が莫大となり住民の負担は限界に達していました。



大正12年、舟橋を取りやめ木橋を架設しましたが、木橋となっても、千曲川の度重なる洪水により、その都度、修理・復旧が発生。その費用も莫大なものとなっていた中で、昭和20年の秋、県下全域を襲った台風による大洪水に見舞われ、木橋は橋脚ごと流出。この橋を利用していた住民は、仕方なく渡し舟を復活させたり、遠く立ヶ花橋を迂回したりと、大変不自由な思いをすることになりました。

【待望の吊り橋建設、そして永久橋の建設へ】



その後、各方面への請願・陳情が実り、昭和27年ようやく橋長210m、全幅員3.6mの鋼製吊り橋が竣工しました。当時近代的な橋ができたということで、地域から大変感謝されたこの吊り橋でしたが、重量制限5トン、幅員も狭かったことから、時代の進歩とともに交通量の増加や車両の大型化が進むと、橋梁内での車の行き違いができず交通渋滞が深刻化。また橋桁は木製のため路面の傷みもひどく、通行に支障をきたしていたことから、早期架け替えが急務となりました。

昭和47年に中野市・三水村・豊田村の3市村で「上今井橋架替期成同盟会」が結成され、以来強力に早期架け替え運動を展開。昭和55年に工事着手すると、用地買収を始めてから実に9年がかりの大事業により、昭和60年について新橋の供用が開始されました。その後、上今井側の築堤工事に合わせ左岸側を延長し、平成6年に橋長266.5m、全幅員9.75mの永久橋が完成。以来地域の方々の生活を日々支えています。



「ああ 上今井橋」
昔を遠く尋ねれば
千曲の川に渡し舟
明治の初め 舟橋を
舟を浮かべて渡したり
豪雨ひとたび襲うとき
半鐘鳴らし 消防団
必死の働き甲斐もなく
舟は流れて失せにけり
昭和の初め つく橋を
杭打ち並べ 架けれども
水害なおも絶えずして
水神様に祈るのみ
請願 陳情 くり返し
やがて架けたる吊り橋に
村の暮らしは安堵して
水難もはや夢語り
惜しきは橋の中せまく
車の行き交い 支障あり
遂に大橋 架け渡し
長らき願ひ かないたり
今井の橋に歴史あり
ああ 顧みる 幾星霜
数多の苦難 乗り越えし
祖先の功績 香しき

作詞：瀧 舜二 (上今井村ものがたり著者)

左岸埋立てに伴う地区内水路見直し箇所を確認し設計に反映させるため、令和6年7月5日、左岸埋立て委員の皆さまと現地確認を行いました。

今後、確認した箇所周辺で測量調査を行います。なお、立ち入りを行う土地の方には、予めご了解をいただいた上で実施いたします。実施時期は8月上旬を予定しております。



上今井左岸築堤工事 進捗状況

(株)守谷商会、(株)鹿熊組、(株)北條組

左岸築堤の盛土工事を7月29日より開始しました。

左岸築堤の3工区について、築堤盛土の準備が完了し、盛土工事(延長L=約600m)を7月29日より着手しました。

盛土工事に伴い、盛土土砂を搬入する大型ダンプトラックが、3工区で合計約50台/日が稼働するため、道路清掃・散水等による防塵対策のほか、交通誘導、一般車両優先・安全運転の励行で築堤盛土工事に臨んでおります。引き続き、安全第一で作業を進めて参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。



土砂採取場所の大型ダンプトラックの運行経路点検・整備のため、先月ご案内した予定に対し盛土開始が若干遅れました。梅雨が明け、季節は夏本番となりますが、上今井左岸築堤3工区ともに”安全第一”に工事を進めていく所存です。

お問合せ先

- 事業全般に関する事 千曲川緊急治水対策出張所 電話 0269-67-0450
- 用地補償に関する事 千曲川河川事務所 用地第一課 電話 026-227-7613
- 用地補償(上今井区前島・栗林区) 用地第三課 電話 026-227-0480
- 工事に関する事 中野出張所 建設監督官 電話 0269-22-2729